

教員養成課程学生における ICT 活用に関する情意面の実態と経時的変容

吉田 光里 (10113122)

1. はじめに

近年の教育の情報化に伴い、教育現場への ICT の普及は著しく進み、多くの ICT 機器が学校に導入されつつある。そのため、教員の ICT 活用指導力の向上は極めて重要である。しかしながら、全ての教員が ICT を効果的に使用しているとは言い難い。また、教員を志望する学生に対しても、ICT 活用指導力の向上が課題であるといえる。渡邊ら (2014) による、小学校教員を対象とした基本的な操作の指導に関する実態調査では、教員養成の段階で、ICT の基本的な操作の指導の必要性が示された。

そこで、本研究は教員養成課程学生に ICT の基本的な操作の指導を実践し、教員養成課程学生における ICT 活用に関する情意面の実態と経時的変容を明らかにすることを目的とした。

2. 方法

本研究の調査手順の概要を図 1 に示す。教育学部で開講されている「教育方法・技術論」の 3 コマを使い、「表計算ソフト」、「タブレット端末」、「実物投影機」、「電子黒板」の 4 つの ICT に係る基本的な操作の指導を実践した。調査対象は、長崎大学教育学部 3 年生であった。本実践の事前と事後、さらに 1 年後にアンケート調査と ICT 活用指導力チェックリスト (文部科学省 2006) を実施した。なお、分析をするにあたって、本実践以前の ICT や情報に関する受講経験を要因として「ICT 授業経験の有無」を第一要因とした。また、本実践の事前調査と事後調査および、1 年後の追跡調査の評価平均値を要因とした「経時的変容」を第二要因として、各質問項目に対して二要因混合比較による分散分析を行った。なお、有効回答者数は 40 名 (ICT 授業経験有/16 名、ICT 授業経験無/24 名) であった。

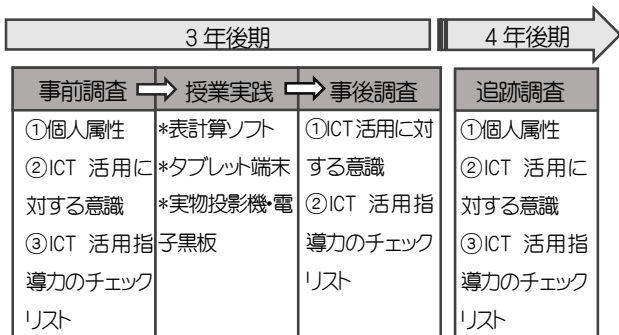


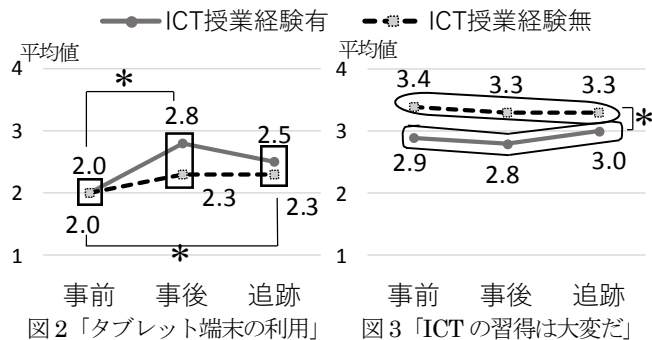
図 1 調査の概要

3. 結果・分析

図 2 に「タブレット端末を使った授業ができる」の質問項目における結果を示す。分析の結果、交互作用は有意ではなかった ($F(2,76)=1.66, n.s.$)。次に、主効果を分析した結果、「経時的変容」における要因のみに有意な差があった ($F(2,76)=8.75, p<.01$)。そこで、Holm 法を用いた多重比較の結果、事前調査と事後調査および、事前調査と追跡調査の間に有意な差があった ($MS_e=0.30, p<.05$)。したがって、授業におけるタブレッ

ト端末の利用において、本実践後に意識が高まり、1 年後にも高まった意識が維持されていたことが示された。図 3 に「ICT の使い方を習得するのは大変だ」の質問項目における結果を示す。分析の結果、交互作用は有意ではなかった ($F(2,76)=1.14, n.s.$)。次に、主効果を分析した結果、「ICT 授業経験の有無」の要因のみに有意な差があった ($F(1,38)=4.32, p<.05$)。したがって、本実践以外で ICT に係る講義を受講した経験がある学生は、否定的な印象が低いことが示された。一方、本実践で ICT に対する否定的な印象を軽減することはできなかった。

また、「ICT について学びたい」の項目において、ICT の受講経験に関わらず、事前・事後・追跡の評価平均値は 3.5 点以上であり、ICT 活用への興味が高いことが示された。したがって、学生が ICT について学びたいという意欲の高さが示された。



4. まとめ

本研究では、教員養成課程学生を対象に ICT の基本的な操作の指導を実践し、学生の実態と経時的変容について検討した。その結果、「ICT 授業経験有」の学生は「ICT 授業経験無」の学生と比較して、ICT 活用に関する意識が高いことが示された。また、全体的に実践前と比較して ICT 活用に関する意識が向上しており、実践後も定着していたことが示された。したがって、教員養成課程の学生の ICT 活用に関する意識向上のためには、授業等で ICT を活用する経験が必要だと考えられた。

今後の課題は、教員養成段階における ICT 活用に対する意識や変容についての調査・分析を継続し、教員としての資質能力向上に寄与でき得る授業実践を考案することである。

参考文献

渡邊ら (2014) 小学校教員を対象とした ICT の基本的な操作の指導に関する実態調査, 日本教育工学会論文誌 38 (Suppl), 161-164
 文部科学省 (2006) ICT 活用指導力チェックリスト
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1296901.htm (参照日 2017.01.24)

(指導教員 瀬戸崎 典夫: 初等教育講座)